

地域おこし協力隊かわら版

協力隊インタビュー 宇地原 隊員



娘とりんご畑



ひめさゆり保全活動 2025



いきもの観察会 2025

Q1 ▶ 協力隊に赴任したきっかけは？

以前、喜多方に住んでいた妻から「毎日絶景で美味しいものだらけのとんでもない場所だ」と聞いていました。大自然のなかで子供を育てりんご栽培したい！と希望していたこともあり、移住を決めました。

私自身、長年いきものに関わる仕事をしてきたことから、昔からひめさゆりの保全活動を行っている熱塩加納地区の協力隊に興味を持ち、応募しました。

Q2 ▶ 協力隊としてどんな活動をしている？

① 市の花「ひめさゆり」の咲く群生地を守る

ひめさゆり群生地保全のための会議（ひめさゆり会議）を開催し、地域の方々との保全活動が長く継続できるように尽力しています。（今年は近くで観察できるかも！？）

② 市の魚「イトヨ（トゲチヨ）」里帰りプロジェクト

平成9年に押切川から東京・井の頭自然文化園へ引っ越しをして生き残ったイトヨの里帰りを計画しています。市の天然記念物である押切川公園西池の環境を整え、押切川産イトヨの子孫を将来にわたって残せるよう活動しています。



イトヨ（トゲチヨ）

③ 自然を次世代に繋げるための拠点づくり

熱塩加納町にある伝田館を「ビジターセンター」として活用できるように整備を進めています。

みんなが気軽に喜多方の生きものにふれあえる拠点づくりを行っています。

④ 生きもの観察会

放課後児童クラブや熱塩加納町のイベントなどで生きもの観察会を実施しました。

今後、学校での授業や川での観察会など、より多くの方々に生きものを知って頂く機会を提供したいです！

⑤ 聞き取り調査・現地調査

フィールド調査に加え、現在と昔の生物情報などを聞き取り、記録しています。あたりまえにいる生きものが人知れず絶滅してしまうことを少しでも食い止めるために調査を行っています！

ビジターセンター
メインビジュアル
(予定)

宇地原 永吉 隊員

（熱塩加納地域 担当）

着任日：令和7年4月1日着任

前住所：愛知県名古屋

活動内容：熱塩加納地域の自然を活用した
地域振興事業の開拓・魅力発信



Q3 ▶ 市民の皆さんへPR!!

大人も子どもも活動に興味のある方は喜多方市熱塩加納総合支所産業建設課地域おこし協力隊ウチハラ

もしくは、メール（右記QRコード）まで！

喜多方市熱塩加納総合支所産業建設課
☎ 0241-36-2115（地域おこし協力隊ウチハラ）



地域おこし協力隊活動中

【小田付伝統的建造物群保存地区担当】山本 華生 隊員

1月17日、小田付初市とともに「小さな六斎市」が開催されました。小さな六斎市実行委員会の皆さまとともに、餅つきやおふるまい、縁起物の風車づくりなどの準備を進め、当日の運営・企画に携わりました。今年は開催日が休日だったこともあり、例年よりも多くの方にご来場いただきました。誠にありがとうございました。また小田付のまちでお会いできるのを楽しみにしています。



【ラーメンのまち喜多方担当】星 智也 隊員

11月3日に「レトロ横丁商店街 秋の歩行者天国 2025」で日頃の活動報告を兼ねた出店を行いました。伝統製法を守りつつ自分の生まれ育った宮城県気仙沼の食文化の要素を織り込んだ喜多方ラーメンを販売し、多くの方にこれまでの活動の成果を、食べて、知っていただきました。気がつけば私の隊員期間も残り5ヶ月。やり残した事がないよう、各方面から「喜多方ラーメンを未来に繋ぐ活動」に精一杯取り組んでいきます！Instagramのフォローもよろしくお願いします。



@tomoyakitakata

【会津喜多方漆器担当】齋藤 大輝 隊員

昨年の年末はウルシの木を伐採していました。日本では昔から、漆掻きが終わった木をその年に伐採する「殺し掻き」の方法を取っており、次の木を育ててはまた十数年後に採取、伐採を繰り返してきました。伐採に用いるチェーンソーの講習に参加したり玉切りを練習したりするも一朝一夕にはいきません。喜多方における漆林を増やし、地場産業としての漆を喜多方で広めることで、経験を積んで技術の向上を図ってまいります。



【会津喜多方漆器担当】秋山 果凜 隊員

1月にスウェーデンからの留学生2名を3日間にわたり喜多方市内で案内しました。塗師さんと木地師さんの工房を訪れ、職人の仕事を体験してもらいました。塗師さんの工房では、喜多方独自の「みご剛毛」を使い、お椀に色漆をぶつける体験に挑戦。初めて触れる漆の感触に驚きながら、楽しそうに作業していました。また、漆に混ざる細かなゴミを取り除く工程にも挑戦し、手仕事の繊細さを実感している様子でした。



令和8年4月30日卒業隊員ご挨拶

スポーツ振興 コーディネーター 担当

栗林 拓哉 隊員

2026年4月末をもって、3年間の任期を満了することとなりました。

eスポーツは、年齢や性別を問わず、誰もが同じ舞台上楽しむことができるスポーツです。私はその可能性に魅力を感じ、喜多方市内での普及と活用に取り組んでまいりました。

今年度は市内の高齢者サロンや児童クラブ、公民館など、さまざまな場所へ出向いて体験会を開催したほか、レトロ横丁や産業フェアなどのイベントにもブースを出展しました。その結果、延べ2,000人を超える市民の皆さまにeスポーツを体験していただくことができました。地域の方々にも少しずつ顔を覚えてもらい、声をかけていただくことも増えました。

この3年間、多くの出会いや挑戦の機会をいただき、成功も失敗も含めて数多くの学びがありました。また、eスポーツが世代間交流の促進や関係人口の創出、さらにはDX人材の育成など、多様な可能性を秘めていることを改めて実感しました。今後も喜多方市の地域振興に少しでも寄与できるよう、この経験を活かしていきたいと考えております。

これまでのご支援に心より感謝申し上げます。3年間、本当にありがとうございました！



こまがた元気会 担当

椿 春樹 隊員

2026年4月末をもって、3年間の任期を満了することとなりました。

妻の故郷でもある駒形地区には、地域おこし協力隊として赴任する前から年に数回訪れておりましたが、いずれこの地で生活が出来たらと協力隊に応募・着任して、あっという間に3年が経ちました。本当に地域の方々にはお世話になりっぱなしの3年間でした。

様々な活動の中でも印象に残っているのが、任期2年目に企画した「駒形元気祭」の開催でした。地区の子供や若い人の交流の場を増やして地区を少しでも元気にしようと、様々な人の協力を得て開催できました。ゲームコーナーやフードコーナーなど思っていた以上に盛り上がり、昨年の2回目も多くの方で賑わいました。また、駒形のことをもっと知ってもらおうべく、直売所があるエリアに大型看板を新たに設置しました。駒形の見所や魅力が伝わりやすいよう、看板のデザインを担当させていただきました。駒形にお越しの際は、直売所の「こまがた元気マルシェ」とあわせて是非お立ち寄りください。

退任後も駒形に残り、少しでも地域に役立つ活動をしていきたいと考えております。

ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました！

